

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

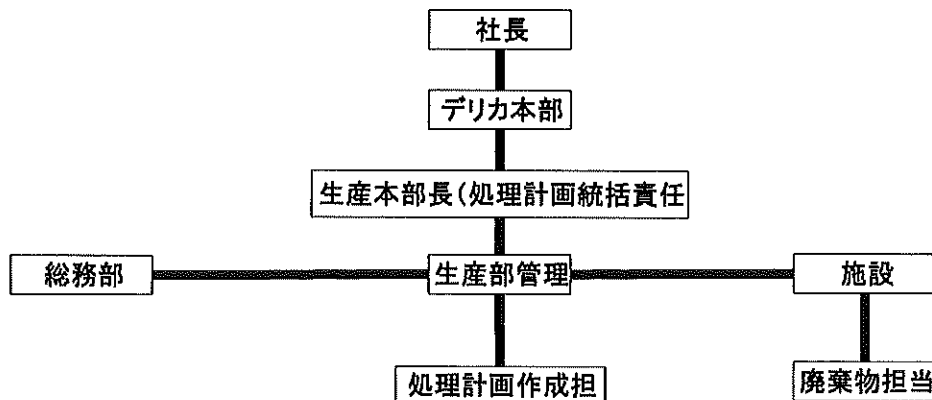
 産業廃棄物処理計画書 令和 6 年 6 月 21 日 郡山市長 殿 提出者 住 所 福島県郡山市谷島町5番42号 氏 名 株式会社ヨークベニマル 代表取締役社長 大高耕一路 電話番号 024-983-3100 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社ヨークベニマル郡山第1ファクトリー
事業場の所在地	福島県郡山市富久山町久保田字古町48-1
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	56 各種商品小売業
② 事業の規模	74.5億円
③ 従業員数	374名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（廃棄物処理フローシート）参照

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙①添付	別紙①添付
	排 出 量	別紙①添付 t	別紙①添付 t
	(これまでに実施した取組) 発生原因を考慮した形状での仕入れ		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙①添付	別紙①添付
	排 出 量	別紙①添付 t	別紙①添付 t
	(今後実施する予定の取組) 発生原因を考慮した形状での仕入れ		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 食品残渣、食用廃油についてはリサイクル100%を目標に、廃プラスチック・金属類を適正に分別する
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) これまで実施した取り組みを継続し、適正に分別する

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	自ら再生利用を行わない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施予定はない		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
実施予定はない			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行わない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定はない		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙②添付	別紙②添付
	全処理委託量	別紙②添付 t	別紙②添付 t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙②添付 t	別紙②添付 t
	再生利用業者への処理委託量	別紙②添付 t	別紙②添付 t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙②添付 t	別紙②添付 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙②添付 t	別紙②添付 t
	(これまでに実施した取組) 委託基準に従って業者に委託し、処理後に廃棄物の処理状況の確認を行った		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙②添付	別紙②添付
	全処理委託量	別紙②添付 t	別紙②添付 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙②添付 t	別紙②添付 t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙②添付 t	別紙②添付 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙②添付 t	別紙②添付 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙②添付 t	別紙②添付 t
	(今後実施する予定の取組)		
	これまで実施した取り組みを継続し、廃棄物処理業者を選定する際には優良認定業者から行うことを推進する		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出に関する項目

添付①

①現状

【前年度(令和5 年度)実績】

産業廃棄物の種類	排出量
動植物性残渣(生ごみ)	1124.01t
汚泥(脱水)	272.67t
金属くず	21.05t
廃プラスチック類	27.09t
廃食用油	7.917t
汚泥	20.98t
ガラス陶磁器くず	0.03t
蛍光灯 水銀使用製品産廃	0.02t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	排出量
動植物性残渣(生ごみ)	1200t
汚泥(脱水)	300t
金属くず	30t
廃プラスチック類	30t
廃食用油	0t
汚泥	40t
ガラス陶磁器くず	0t
蛍光灯 水銀使用製品産廃	0t

業廃棄物の処理委託に関する事

添付②

①現状

【前年度(令和5 年度)実績】

産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
動植物性残渣(生ごみ)	1124.01t	0t	1124.01t	0t	0t
汚泥(脱水)	272.67t	0t	272.67t	0t	0t
金属くず	21.05t	0t	21.05t	0t	0t
廃プラスチック類	27.09t	0t	27.09t	0t	0t
廃食用油	7.917t	0t	7.917t	0t	0t
汚泥	20.98t	20.98t	0t	0t	0t
ガラス陶磁器くず	0.03t	0t	0.03t	0t	0t
蛍光灯 水銀使用製品産廃	0.02t	0.02t	0t	0t	0t
これまでに実施した取組					
リサイクルを目的とした処理業者を選定し循環型を視野に取り組む					

②計画

【(令和6 年度)目標】

産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
動植物性残渣(生ごみ)	1100t	0t	1100t	0t	0t
汚泥(脱水)	300t	0t	300t	0t	0t
金属くず	30t	0t	30t	0t	0t
廃プラスチック類	30t	0t	30t	0t	0t
廃食用油	5t	0t	5t	0t	0t
汚泥	100t	100t	0t	0t	0t
ガラス陶磁器くず	0t	0t	0t	0t	0t
蛍光灯 水銀使用製品産廃	0t	0t	0t	0t	0t
今後実施する予定の取組					

廃棄物処理フローシート

